

巻頭特集



夏休み子ども落語教室

小学生が夏休みに落語を覚えて演じる「夏休み子ども落語教室」の第5回が今年も開催される。基礎から教わって高座名をもらい、最後は実際に上演。過去に参加した子どもたちの感想や、運営する大人たちの思いを取材した。

小学生の子ども達が たったひとりで高座に上がる

毎年開催されている「夏休み子ども落語教室」(以下、落語教室)の募集が始まった。4回の稽古のあと、迎えるは家族発表会と、9月の「手水寄席」の舞台。「手水寄席」は「こいし歯科」で定期的に開催されている無料寄席だ。常連のお客さんも多くいつも大入り満員となる。巧みな間に引き込まれ、とぼけたセリフにどつと沸くその熱気は、小さくとも確かに寄席独特のもの。人前で演じるのは大人でも緊張してしまいがちだが、子どもたちはどうだったのだろうか。過去の参加者に聞いた。

小学3年生から毎年参加したかぶとさんは、初めての上演の記憶について「すごく緊張した。今はもう慣れたけど」と話す。姉妹で参加したあさがおさんともみじさんは、落語教室をきっかけにおじいさんと上方落語専門の寄席「天神繁昌亭」に出かけたそう。「プロの落語家さんはすごかった!」とあさがおさんは目を輝かせる。覚える時は、わて、くつつかんねん」といった昔の大阪弁に戸惑った。時にはお父さんに見てもらいながら、ふたりでたくさん練習したそう。小学4年生のひまわりさんは、「師匠はどんな人?」と尋ねると「面白くてやさしい」と答えてくれた。

子どもたちの師匠となる千里家バカボンさんは、「関西大学」の文化会「落語

大学」の出身。卒業から30年近く経った今も社会人落語家として活動する。「正直なところ、子どもたちの練習での出来はいつもボロボロ!でも、本番になると仕上げてくるんですよ。子どもの成長力はすごい」とバカボンさん。「上手にできた、楽しかった」という自信につながるよう、ほめて伸ばすことを心がけている。学校でよく発言できるようになったという声もあるそう。



左) ベネッセ伏見台5丁目教室 英語講師 中本恵子さん
右) オフィスはなはな 商業活性化アドバイザー 商店街よろず相談アドバイザー 日本笑い学会理事 堀登志子さん

落語の世界を受け止める あたかな寄席の活気

落語教室を主催する「ふあんふあん子ども落語の会」のメンバーは、中本恵子さんと堀登志子さん。英語教室を営む中本さんは10年前、英語落語から落語に興味を持ち、小学生だった息子とともによその落語教室に参加した。短くて面白い落語の小咄は英語の教材としてもぴったりだ。「でも生徒たちがせっかくなら落語を覚えても、人前で披露

活動10周年を記念して、「手水寄席」オリジナルの扇子と手ぬぐいを制作。高座の常連、関大亭学乱さんがデザインした



昨年の「手水寄席」で落語を披露した子どもたち。写真は大喜利の様子



動きを大きくしたら、笑ってくれた!

やまと家こつさん (杉本大武さん)

『初天神』でわがままな子どもを演じて楽しかった

おとめ家あさがおさん (堀朝斐さん)



する機会がないな...と思ってたところに、堀さんと出会いました」と話す。「池田は寄席の空気がいいんです。落語を聞いて笑える素養が池田の人にはあるんでしょう。こんなにいいお客さんはいないですよ」と断言するのは、商業活性化アドバイザーや「日本笑い学会」理事など多彩に活動する堀さん。「手水寄席」を通じて小石先生と親交があったことから、2014年に「こいし歯科」での教室開催が実現した。

誰かを笑わせることの素晴らしさを知ってほしい

小石先生が「手水寄席」を始めたのは、落語のまち・池田のまちづくりに貢献したいという思いと、多くの人を予防歯科につなげる狙いがあったそう。寄席を開けば、歯科医療に関心のない人も来てくれるからだ。小石先生自身もかつて「天満天神繁昌亭」の落語教



こいし歯科 小石剛先生
恋歯家歯つ恋さん

室に通い、現在も恋歯家歯つ恋として毎回高座に上がる。気軽に聞ける。健口で虫歯予防の大切さを伝えている。「手水寄席」は次回から会場を「こいし・こども矯正歯科(サンシティ池田3F)」の待合室に移す。落語教室の子どもたちにも新会場で上演してもらう予定です。「今より3倍ほど広い会場になります。たくさんの方にのけて表現して、笑ってもらうことの素晴らしさ。それから親子の絆を深める機会としても、『笑って、落語って、こんなに楽しいんだ』という体験をしてほしいですね」。小石先生こと、恋歯家歯つ恋さんはそう語った。

夏休み子ども落語教室

【プログラム】

7月15日(月祝)	落語を体感して楽しむ基礎編
28日(日)	高座名をもらってお稽古開始
8月18日(日)	落語のお稽古・大喜利を楽しむ
24日(土)	発表会に向けて高座でお稽古
25日(日)	家族発表会
9月29日(日)	「手水寄席」に出演

講師/千里家バカボン
場所/こいし・こども矯正歯科 (池田市呉服町1-1 サンシティ池田3F)
費用/3,500円(保険代・小道具代)
対象/小学1~6年生
申込締切/7月8日(先着10名)
申込先
TEL:090-7961-8785(中本)
MAIL:kei.pooh.rkt.8.13@docomo.ne.jp
※申込時に名前・学年を明記のこと
主催/ふあんふあん子ども落語の会
共催/こいし歯科、こいし・こども矯正歯科



子どもたちがイキイキ演じられるように教えています

講師 千里家バカボンさん



何人も演じ分けるのが難しい...

やまと家つるぎさん (開田航河さん)

大きい声が出るようになりました



おとめ家もみじさん (堀伊吹さん)

おとめ家ひまわりさん (開田美咲さん)



『手遅れ医者』のオチが好き!

覚えるのが難しいけれど、本番では上手にできた



やまと家かぶとさん (杉本大和さん)

「手水寄席」とは??

地元の様々なお店が「落語のまち・池田」の魅力づくりに参加する「おたなKAWAI」のひとつ。「手水寄席」は2009年から奇数月に寄席を開催し、今年5月に10周年を迎えた。手水とは古典落語「手水廻し」にも登場する、昔の洗顔・歯磨き用品のこと。社会人落語家が多数出演中。9月には落語教室の子どもたちがお披露目公演を行う。